質問者

村井 慶太郎 議員

Q 松前小学校南校舎の修理予定は？

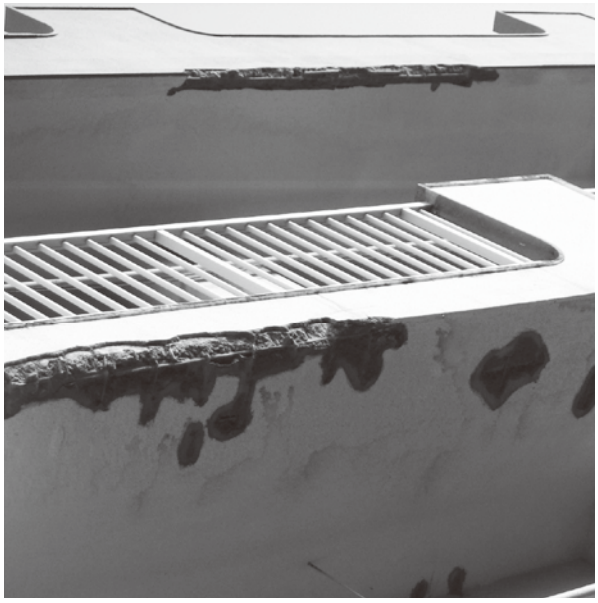
A 出来るだけ早く取り組みます

問 本町は教育の町を宣言して50年が来ようとしているが、子供が安心で安全な環境で勉強や遊びができる学校づくりが基本だと思う。南校舎を見に行ったが、子供が不安がるのも当然と言えるぐらい無数にコンクリートがはがれ落ち鉄筋もむき出しになっていた。

早急に対策を講じてもらいたい。南校舎の修復はいつから着工するのか。あわせて耐震状況も伺いたい。

答 永見教育長

松前小学校南校舎は、施設の老朽化によるコンクリートの剥離等も見られるので、応急処置をしています。既に2次診断が終わって南校舎は倒壊の危険性が高い建物ではありませんが、施設の老朽化による補修工事とあわせて耐震補強工事を実施したいと考えており、今のところ22年度に計画していますができるだけ早く取り組みます。



いつまでもつの（風雪に耐える）南校舎ベランダ

問 中心市街地再活性化特別事業再開は

義農公園は昭和28年に県指定史跡とされ、毎年義農祭が盛大に行われ本町では観光スポットの一つとなっている。

この県史跡に指定された公園の歩道が途中で寸断されているのはいかがなものか。義農公園北側歩道の県道までの延長工事予定はあるのか。

答 地権者の同意が得られれば検討したい

西坂産業課長

地域を全体的に整備するという中心市街地再活性化特別事業の一環として行ったものです。

当初計画では歩道は県道まで工事をする予定でしたが地権者の合意が得られなかったのでやむなく途中までしかできませんでした。

歩道は交通の利便性、歩行者の安全面を考えても県道まであったほうがいいと思います。

残された区間について地権者の同意が得られるのであれば、改めて検討していきたいと考えてます。

県道までほしい歩道だが・・・